

椎の苗木通信



夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

Tel 0983-32-2028

Fax 0983-32-4191

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

(木城町教育大綱の基本理念)

避難訓練

11月1日(水)の5校時に、地震と津波を想定した避難訓練を実施しました。この訓練では、日向灘沖を震源とする震度5強の地震が発生し、津波の恐れもあるという設定で、緊急放送を聞いて、生徒は窓や戸を開け、机の下に入るなど身を守る行動をとりました。



次に、2階にいる生徒は3階へ避難して津波への備えをしました。その後、体育館へ移動し、地震や津波に関するDVDを視聴したり、小坂先生の話の聞いたりしました。

避難訓練を終えての感想を紹介します。

2年 北崎 悠莉 さん

私は、今回の避難訓練に参加して改めて地震・津波の恐ろしさがよく分かりました。動画や校長先生の話の聞いて、もし地震や津波が発生したら、自分で考えて行動するようにしたいと思います。私はよく人に頼ったり、人の行動を見て自分も動

いたりします。そういう自分を改めていきたいと
思います。また、津波は木城町までには押し寄せてこないと思っていましたが、津波の話では、木城町にも津波の危険性があることを知って、自分なりに防災意識を高めていこうと思いました。

租税教室

11月15日(水)5校時、1年生を対象に租税教室が多目的室で行われました。講師は、新富町在住の三谷税理士です。



まず、税金が日常の生活にどのように関わっているかをアニメのDVDを視聴しました。分かりやすい内容で生徒も理解できたようでした。

また、税金は、国税と県税に大きく分けられること、国税は税務署に、県税は県庁や役場等に納めることや、税金の種類について説明されました。

租税作文入賞

本年度の租税作文の審査があり、本校から2名の生徒が入賞しました。

➤ 宮崎県租税教育推進中央協議会会長賞 銅賞

1年 三輪 智衿 さん

➤ 西都・児湯地区租税教育推進協議会会長賞 銅賞

1年 谷岡 鷹亮 くん

おめでとうございます。

レベルアップタイム

今月から学力向上への対策としてレベルアップタイムを、11月17日(金)、20日(月)、21日(火)の3日間、帰りの会前の30分間を活用して行うことにしました。事前に、生徒へ希望教科を調査し、学習内容の質問をすることによって、学力向上につなげていくねらいがあります。

ある散歩でのできごと

ある日の夕方、私(教頭)が散歩をしていると、一匹の子猫が道端にうずくまっていた。すると、帰宅途中のある男子高校生が自転車を止め、子猫に、「どうしたの。お母さんとはぐれたの」という言葉をかけ、「明日になってもお母さんが見つからなかったら、お兄ちゃんが家で育ててあげるからね」と言って、その男子高校生は家路についた。

その翌日、同じ頃、私が散歩をしていると、同じ場所で、また子猫が道端にうずくまっていた。すると、昨日の男子高校生がやってきて自転車を止め、その子猫に向かって「おや、結局、お母さんとはぐれたんだね。約束したとおり、お兄ちゃんが家で面倒をみてやるからね」と言っておもむろに子猫を抱き上げ、前輪の籠に乗せてその場を立ち去った。

このように優しい高校生の言動を傍らから眺めていた私は、とても嬉しい気持ちでいっぱいになり家路についた。

校長雑感

雲の上はいつだって青空！

延岡に「虎屋」というお菓子屋さんがあります。その社長である上田耕市さんは、とても愉快で魅力的な人物です。学校にもよく講演をしに来てくださり、私は、この方のお話を、数回お聞きしたことがあります。いつも、元気の出るお話、前向きになれるお話しをしてくださるのですが、その中の1つを紹介します。

上田さんのお店では、仕事を始める前、毎朝、朝礼を行うのですが、その中で上田さんは必ず「本日は晴天なり…」から話を始めるのだそうです。それが曇りの日でも、大雨の日でも…です。それはなぜか？上田さんに言わせると「だって、晴れてるよ。雲の上は…」ということですよ。— 当たり前ですよ。でも、この当たり前の中のことに、大切なメッセージがあると言うのです。

上田さんは言います。たとえ大雨だったとしても、台風だったとしても、それは所詮、雲の下の出来事。雲の上はいつも青空で、太陽が燦々と輝いています。雲があるせいで、今は見えないというだけです。つまり、苦しいことや、うまくいかないことがあったとしても、がんばってそれを乗り越えれば(雲の上まで行けば)、必ず、明るい未来がそこにある(太陽が輝き、青空が広がっている)ということです。

しかし、とても苦しい状況にある人の中には、雲を突き抜けるだけのエネルギーがもてない人もいるかもしれません。でも、そんな人はこう考えてみてはどうでしょうか。「その分厚い雲は、いつまでもそこにいるわけではない」、「なんとか我慢してやり過ごせば、また雲の切れ間から日が差すときが来る」と。

人生はいろんなことがあります。楽しいこともあるけれど、苦しいことだってたくさんあります。泣きたくることだってあるでしょう。けれどもそれは、全部雲の下の出来事です。雲の上にはちゃんと青空があり、太陽が輝いています。雲がずっとそこに居座ることはありません。がんばって、我慢して、そこを何とか乗り越えれば、また希望の光が必ず見えてきます。もしエネルギーが残っているのなら、がんばって、がんばって、雲の上まで突き抜けてしまえば、必ずそこには青空がまっています。

中高生の自殺という悲しい出来事が起こるたびに、胸が痛みます。木城中の生徒たちは大丈夫だろうか、心配にもなります。

雲の上はいつだって青空！— 苦しいことがあったとき、壁にぶち当たったとき、「もうダメかも…」と思ったとき、思い出してください。